

平成 29 年 5 月 23 日

氷見市長 林正之 様

要 望 書

泊地区自治会

区長 出崎栄



目 次

1. 「瀬間田地内、急傾斜箇所の補修工事の実施」	3
2. 「集中豪雨による被害防止対策工事の実施」	4
《参考》「泊谷砂防事業に係る説明会（議事録要旨）」	
3. 「 宅前(神明社側)に街灯の新設」	6
4. 「国道160号泊地内の急カーブ個所の改修」	7
《参考》文書Ⅰ.、Ⅱ. & 配置図	
5. 「急傾斜擁壁部の破損個所及び市道の崩落個所の改修」	11
6. 「市道斜面（ 宅下）の崩落対策」について	14
7. 「 宅裏の排水処理対策」について	15
8. 「市道の補修、維持管理の早急な対応」について	16
9. 「津波発生時の新たな避難経路の確保」	17
《参考》報告書：〈市長政策・都市経営戦略部 地域防災室〉新井主幹様	
10. 「瀬間田地内市道の拡幅、急カーブ箇所の改修」	19
《参考》配置図	
11. 「除雪機と嘱託人員の増員要請」	21
12. 「イノシシ被害防止対策の要請」	22
13. 「空き家対策の実施要請」	23
14. 意見交換：「少子高齢化と自治会活動の行き詰まり」	24
15. その他：～行政への要望、等～(順不同)	25

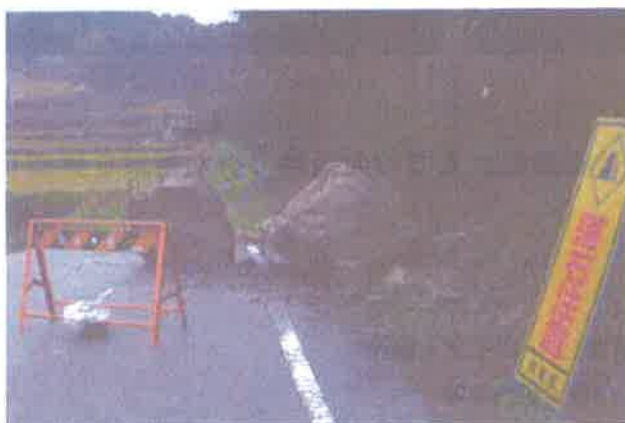
要望事項；1

「瀬間田地内、急傾斜箇所の補修工事の実施」 H29-024-001

1. 要望理由と現状

- (1) 平成 28 年 1 月 11 日早朝、市道瀬間田線・急傾斜箇所で、崖の落石/崩落事故が発生しました。(下記 写真①、直径約 1m 位の岩石 2 個、他) 事故発生時には、市役所の担当部署へ報告し、岩石の除去、注意の喚起、などの応急的な処置をしていただきました。この近辺は、40 年位前に、県による急傾斜工事はされていますが、今回落石があった場所は急傾斜工事の終端より 20m くらい山側に離れたところにあり、過去にも落石があった箇所でもあります。現場では、肉眼で、他にも亀裂が入っている箇所が確認できています。
- (2) また、平成 29 年 1 月 27 日には、このすぐ隣でも崩落が発生(下記 写真②)し、応急的に L 字型ブロックで対応していただきました。
- (3) 崩落箇所の近辺には日常生活があり、この市道を行き来する人/自動車等もあります。地区住民/自治振興会役員共々、非常に憂慮すべき事態であるとの認識を持っているところであります。
- (4) 地区住民の生活道路として、安全性をしっかりと確保されるよう、根本的な対策をお願いするものです。

①平成 28 年 1 月 11 日崩落



②平成 29 年 1 月 27 日崩落



2. 具体的な要望事項

市の担当の方からは、①については、平成 29 年度に急傾斜法面の崩落防止対策が予算化されたと伺っております。早急実行していただくことを要望しております。

要望事項：2

「集中豪雨による被害防止対策工事の実施」 H29-024-002

1. 要望理由と現状

- (1) 「瀬間田谷内 通常砂防事業」は平成24年3月に全体計画が認可されましたが、事業の進展は見られておりません。一方で、未だに、梅雨時や台風の襲来などの豪雨時には、地下に潜った大量の雨水が下方の家屋に被害を与えるという事態が継続して発生しております。
- (2) この件について、市に対して、地区住民の安心/安全をしっかりと確保されるよう応急処置的対応をお願いしているところです。

市道側溝に流れ込む状況



市道側溝起点上流側の状況



2. 具体的な要望事項

砂防ダム築造予定箇所から市道側溝起点までの大雨時の排水対策を実施していただくことを要望いたします。

《参考》

「泊谷砂防事業に係る説明会（議事録要旨）」…ポイント抜粋

- 1 日 時 平成 25 年 6 月 9 日（日）午後 7 時～8 時
2 場 所 泊コミュニティセンター
3 出席者 富山県高岡土木センター氷見土木事務所；砂防班長 ■■■、砂防班 ■■■、
用地班 ■■■

地元: _____

4 内 容

(1) ■■■区長 あいさつ

(2) 県側説明

(3) 質疑

Q. 本日の出席者は砂防事業に了解していただけるか？ (■■■区長) / (一同) 了解する。

Q. 欠席者に対しては個別に説明し了解を得たいと思うが。 (■■■区長) / (一同) 了解する。

※上記のように、**地元として、砂防事業を了解し、次のステップへ進んでいただくことを確認**しておりました。

要望事項；3

「■■■■宅前(神明社側)に街灯の新設」

1. 要望理由と現状

- (1) 当該街灯の設置要望は3年連続して提出しています。
- (2) ■■■氏は、地区内では人口/家屋減が続いている中で、二十数年ぶりに新たな地所で新築して頑張ってくれています。このため近辺には街灯がなく、子供もまだ小さいことから、自治会としても優先して、早急な設置をお願いしますのもであります。

2. 具体的な要望事項

去る5月11日に、担当の方から、市として、設置していただけるとの連絡がありました。一部地元負担が生じるということですが、今後、担当部署と連携して進めていきます。ありがとうございました。

要望事項；4

「国道160号泊地内の急カーブ個所の改修」 H29-024-003

1. 具体的な要望事項

*当案件については、平成28年5、6月に、蕨田県議及び地元市議にご尽力を頂いて、蕨田、小杉、泊、宇波の4地区合同の要望事項として、氷見市長はじめ各関係機関に要望書を提出したものです。

今回は、このうち、特に、泊地内の急カーブ個所の問題について、改めて、認識を共有していただき、市長から各方面への働きかけ、協力の取り付け、等を強く要望するものです。地元といたしましては、添付位置図で提示しますように、海側に移動して、通り抜ける案を要望します。

《参考》

I. 以下は、『泊地内の急カーブ近辺での死亡事故、接触事故、および事故には至らないヒヤリハット事例』です。

1. 死亡事故

- 1) 小杉地区住民（7年程前）
- 2) 宇波地区住民（22年程前）

***氷見方面から来た自動車**が急カーブを曲がりきれず、**■**家の塀垣に激突した自損、死亡事故

- 3) 泊地区住民（40年程前）
- 4) 小杉地区住民（45年程前）

***1)、3)、4)**はいずれも地区住民が対象区間で巻き込まれた死亡事故であり、悲しい出来事として、いまだに強く記憶されています。

2. 接触事故、自損事故、など

- 1) 氷見方面から来た自動車が、田前商店前の国道から泊地区内市道に左折しようとしていたところ、後方から来た自動車に追突された追突事故（H24/12頃）

- 2) 氷見方面から来た乗用車が急カーブを曲がりきれず、 家の塀垣に激突した自損事故（H24/11 頃）
- 3) 自動車で泊地区内市道から国道に出ようとしたとき、灘浦方面から来た自動車と接触した接触事故（H17/5 頃）
など

3. ヒヤリハット（地区住民からのインタビューによる）

- 1) 自動車で泊地区から国道へ出ようとしたとき、灘浦方面から来た中、高生の自転車とあわや接触事故になりそうになった。（数人から、同意見あり）
- 2) 泊地区で、歩いて国道を横断しようとして立ち止まって、自動車が通過していくのを待っていると、氷見方面から走ってくる自動車がこちらに向かって来るようで、非常に恐ろしい目にあった。（数人から、同意見あり）
- 3) 泊地区から、真常寺、民宿磯波風、等、灘浦方面へ歩いて行こうとすると、 家前から泊コミュニティーセンター裏手の区間は歩道が無いため、氷見方面から来る自動車に撥ねられそうになった。（数人、特に、年配者から、同意見あり）

※これらの事象に対しては、同時に、自動車の運転手も歩行者などの安全に対して、非常に気を使って運転することになり、神経を使う箇所となっている。

など

4. その他

- 1) 今年からは、灘浦中学校と北部中学校とが統合され、泊地区からの他に、一部灘浦方面からの生徒が自転車通学をしています。高校生もいます。この区間の危険性は益々増してきております。

Ⅱ. 以下は、平成 28 年 5、6 月に、 及 及び地元市議にご尽力を頂いて、 、 、 、 の 4 地区合同の要望事項として、氷見市長はじめ各関係機関に提出した要望書の抜粋です。

1. 要望理由と現状

関係機関のご尽力等により能越自動車道が灘浦インターチェンジまで開通しましたが、小杉、泊地区住民にとって、国道160号が唯一の生活道路であることに変わりありません。かねてより、蕨田3地区自治会（蕨田、小杉、泊）は地区の安全、安心を第一に考え、住民の命とくらしを守るとともにより良い地域社会をつくるため、国道160号の道幅の拡幅とトンネルの拡幅、歩道の整備等を強く要望して参りました。現在、部分的な整備はしていただいておりますが、急カーブ箇所をはじめ、まだまだ、危険箇所が残っております。

要望区間では、過去に死亡事故や人身、物損事故が数多く発生し、住民は常に身の危険を感じながら、不安な日々を送っております。能越自動車道の開通により交通量が減少すれば、運転手の心理として速度を上げがちになり、更に危険度が増すことも予想されます。

地区住民の生活道路として、利便性と安全性をしっかりと確保されるよう、国道160号要望区間の根本的な対策をお願いするものです。

2. 具体的な要望事項

要望区間の中で最も危険度が高い場所は、泊地内の急カーブ箇所です。ここには民家等の建物が道路沿いに迫っていることから、見通しが悪く、自動車や自転車の走行や人の歩行にも危険な箇所です。更に、道路幅が狭く、歩道が無い箇所もあって、歩行者の横断にも常に事故の危険が伴っています。

地区住民の命と暮らしを守るため、急カーブの解消、見通しの確保に早急に取り組んでいただきますよう、お願いいたします。

なお、要望区間には同様の危険箇所が幾つも存在しますので、要望区間全体の危険度を調査され、危険度の高い順に改修をお願いします。

*添付資料 1.危険箇所(4ヶ所)の明示と要望区間を示す地図

2.写真(1)～(4)；危険箇所近辺の現場写真

(*添付資料は省略しております)



現在の国道 160 号線。このあたりは、カーブがきつく、見通しが悪い上、歩道がなく、特に、事故やヒヤリハットが多い個所となっています。

改修後のイメージ図。地元としては、過去には死亡事故が多発しており、今でも、自損事故やヒヤリハットが発生していることから、海側に移動した改修を要望します。市が国交省、農水省などの関係機関と交渉を進めるに当たり、地元の意向を汲んで交渉していただきますよう、お願いいたします。

要望事項；5

「急傾斜擁壁部の破損個所及び市道の崩落個所の改修」H29-024-004

1. 要望理由と現状

県土木等が担当する急傾斜擁壁部破損部や国道、市道の崩落個所の補修について、長年、繰り返し、繰り返し要望していますが、県及び市の対応が大幅に遅れています。具体的には、

(1) 急傾斜擁壁部の破損

① 宅車庫裏、② 宅横擁壁部中段のコンクリート部分の損傷

① 宅裏の損傷

② 宅横の損傷



(2) 急傾斜擁壁部付近の雑木の垂れ下がり

① 宅横、② 宅裏、③ 宅裏、④ 宅裏、

⑤ 宅裏、⑥ 宅周辺、⑦ 宅周辺、⑧ 宅裏、

⑨ 宅裏

① 宅横

② 宅裏



③ 宅裏



④ 宅裏



⑤ 宅裏



⑥ 宅周辺



⑦ 宅周辺



⑧ 宅裏



⑨ 宅裏



- (3) 国道 160 号線斜面崩落対策要望箇所（防火用水北側の国道沿い箇所）について、崩落の危険性が高く、対応をお願いしております。



2. 具体的な要望事項

県土木、国交省及び市の担当部署が密に連携して要望事項の実施をお願い致します。

要望事項；6

「市道斜面（ 宅下）の崩落対策」について

H29-024-005

1. 要望理由と現状

 宅下の市道斜面は過去において、数回に渡って降雨時、降雪時に崩落を繰り返していて、都度、土石流の除去や一時的に通行止めにするなど、応急的な処置をしてしのいできましたが、前回の崩落時(平成 25 年 6 月)からは通行止めの処置をしてきております。



2. 具体的な要望事項

市道の真横であり、生活道路でもあることから近隣者、他にとっては大事な道路となっています。地区住民の生活道路として、安全性をしっかりと確保されるよう、根本的な対策をお願いするものです。

要望事項；7

「 宅裏の排水処理対策」について H29-024-006

1. 要望理由と現状

 宅は、新築当時は、隣接する水田で稲作をしていたことから、雨水などの管理がされていましたが、その後、休耕田となり、雨水等の管理がされなくなってきました。そのため、現在では、写真(平成 25 年 9 月の豪雨時のもの)で示しますように、梅雨時など豪雨時には敷地内に雨水が流れ込むというような状況を繰り返すようになってきました。



2. 具体的な要望事項

この問題、 さんからは苦しい胸の内をうかがっております。新築時には想定していなかった問題であり、行政からの支援について伺いたいと思います。

要望事項；8

「市道の補修、維持管理の早急な対応」について H29-024-007

1. 要望理由と現状

地区内の市道は陥没や崩れ、グレーチング部のガタツキ、騒音、市道を雑木が覆い被さる、など次々と問題点が発生してきています。こういった問題解決に当たっては、市に補修や修理をお願いしていますが、中々タイムリーに、しっかりとした対応が出来ていません。また、必ずといっていいほど、再発しています。具体的には、

- (1) 市道円山線(マリンタッチ付近)の陥没対策(実施が遅れている)
- (2) マリンタッチ前市道及び付近電線に覆い被さる雑木対策(平成 29 年 3 月に済)
- (3) 自動車通行時、グレーチング上の騒音対策(ガタツキ対策が難しい)

などの問題が発生しています。

①市道円山線：市道の陥没

②市道円山線：雑木の垂れ下がり



2. 具体的な要望事項

- ① 市道の陥没や崩れは事故にも結び付くこともあり、タイムリー且つ早急な対応をお願い致します。
- ② 雑木の伐採は地元で作業、廃棄するのは困難であり、どうしても業者に依存せざるを得ず、費用の地元負担が大きすぎるという問題があります。
- ③ 類似地域が他にもあると思いますが、この類の予算は重みづけなどで思いやり予算にしてもらえれば有難いと思います。

要望事項；9

「津波発生時の避難経路の確保」 H29-024-008

1. 要望理由と現状

- ① 藪田三地区では、毎年、津波の襲来に備えた避難訓練を行っています。泊地区に関しては、訓練結果を市防災担当部署に報告していますように、高齢者や避難行動要支援者の中には、避難場所までに10分以上もかかる人がいます。
- ② 先日の津波シミュレーション調査結果の説明や先に富山県などから報告されている資料によりますと、氷見市沖の海底や呉羽山断層帯などで発生した断層型地震の場合、連動型であれば、泊地内では最高津波到達時間は4分と想定されています。訓練時で10分ということは、実際の地震/津波の発生時にはこれ以上の時間が掛かることは、明らかなです。(参考；平成28年5月「津波避難訓練計画書 兼 報告書」)
- ③ これでは、目に見えて、避難するまでに津波に飲み込まれてしまうことになってしまいます。

2. 具体的な要望事項

他地区でも同じような問題がある個所があるかと思いますが、県 or 国とも連携して、防災事業の観点から、また、人命の尊重ということからも、地区内での津波避難経路の確保、整備をお願い致します。

《参考》

報告書：〈市長政策・都市経営戦略部 地域防災室〉新井主幹様 (TEL 74-8021)

平成28年5月

区長 出崎栄一

津波避難訓練計画書 兼 報告書

日ごろ、自治会活動にご協力を賜り、ありがとうございます。

先日の班長会議で連絡しましたように、泊地区における津波避難訓練を下記の内容にて行います。各班内への周知徹底と訓練当日の指導、管理をお願いいたします。

1. 避難訓練計画書

1) 訓練日時 平成28年5月22日(日)午前8:00頃

*今回は藪田三地区共同で実施致します。

*雨天決行と致します。防寒具の準備が必要であれば、各自準備願います。

2) 訓練計画

～内容省略～

2. 報告書

1) 報告者；区長 出崎栄一

2) 報告内容

①訓練参加人員、参加率；～内容省略～

②不参加理由、etc；～内容省略～

③組員の避難に掛かった時間；

最速時間：1分以内、最遅時間：14分

最も時間のかかった人は80歳を超える高齢者であった。瀬田地区内は避難場所が乏しく、

避難場所が少ないことも問題か？最新の想定津波到達時間では、逃げ遅れになる。

④実施状況(現場写真)；

添付「平成28年度 泊地区津波避難訓練実施状況-1/2、2/2-」による。～内容省略～

要望事項；10

「瀬間田地内市道の拡幅、急カーブ箇所の改修」 H29-024-009

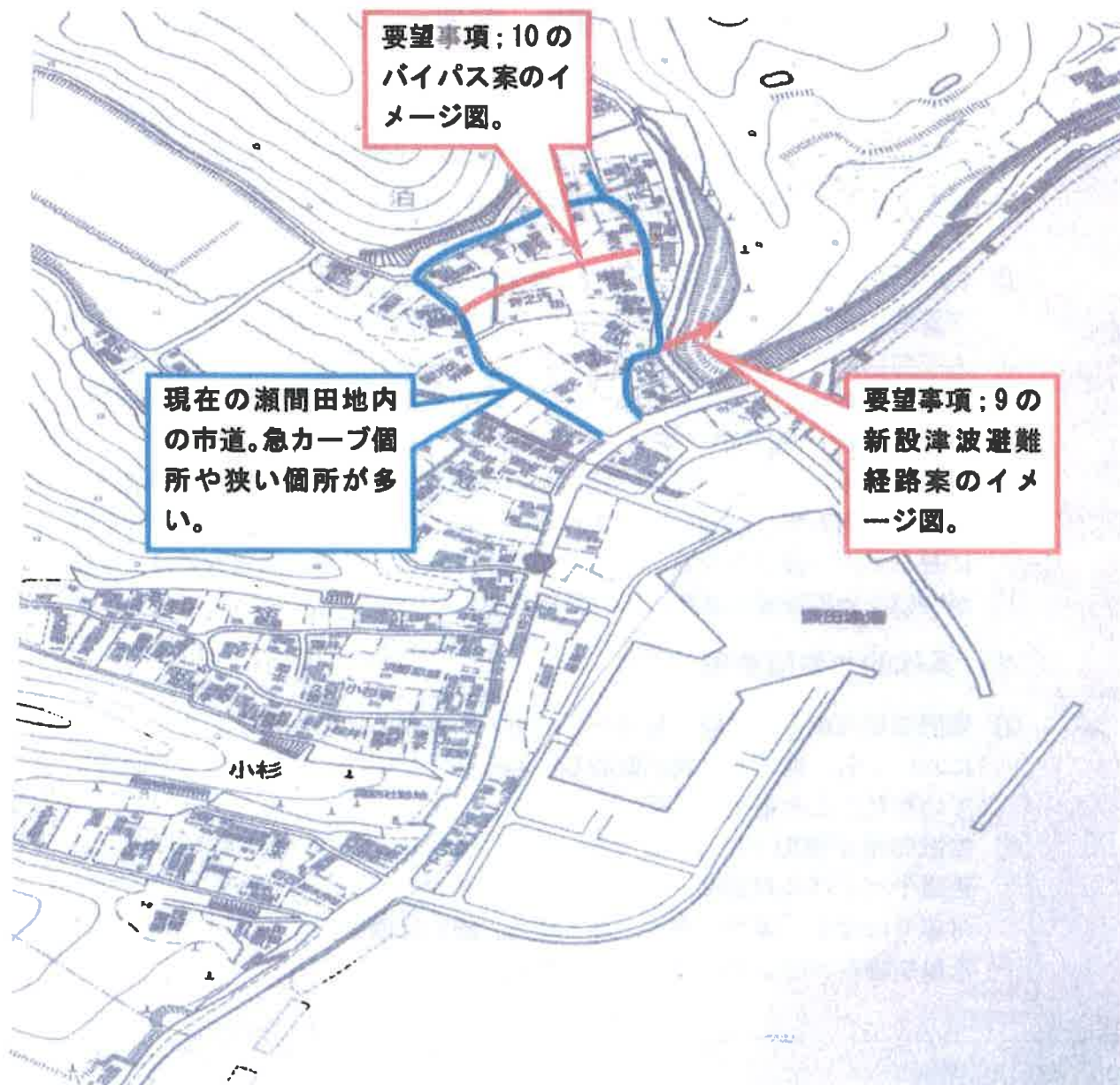
1. 要望理由と現状

- ① 瀬間田地内の市道は幅が狭く、また、急カーブ箇所も多いため、一般車両はもとより、救急車や消防車が地区内に入るにも大変な支障が生じております。
- ② 1 昨年冬の冬期には、急病人が出て、救急車を呼んだものの、これらの急カーブ箇所を曲がりきれず、時間を掛けて前進/後進を繰り返し、辛うじて急病人宅前にたどり着くという状況でした。しかも、国道に出る先には急カーブ箇所があって、先に進めないため、時間を掛けて戻り、ようやく国道に辿り着くという状況でした。
- ③ 地内のメインとなる市道は、いざという時には、救急車や消防車が前進のまま、周回して、国道に到達できるようにしないと、緊急性を要する事案に対して、手遅れとなることとなります。また、冬季の降雪時には、道幅が狭いため除排雪の場所にも大変苦勞をしています。

2. 具体的な要望事項

- ① 瀬間田地内市道の拡幅、急カーブ箇所の改修をしていただき、また、冬季においても、地域内住民が安心して暮らし、利便性に富む市道へと改善していただくことを強く要望いたします。
- ② 拡幅/改修が無理ということであれば、代替案として、津波避難経路の確保、整備やバイパスの実現、その他の整備事業との関連などピンポイントでの対応ではなく、実現に向け、市と地元、或いは関係部署、等とでPJT的な取り組みが出来ないでしょうか？

《参考》



要望事項；11

「除雪機と嘱託人員の増員要請」

H29-024-010

1. 要望理由と現状

- ① 冬期の降雪時、藪田三地区への除雪機の配分は、藪田；1台、小杉／泊；1台となっています。除雪機の始動は積雪 10cm になってからとなっています。藪田の 1 台は藪田地区内で除雪を開始しますが、他の 1 台は小杉 or 泊地区内の除雪を終えてから他の地区の除雪を開始することになります。この体制では、朝の出勤時や通院時など、必要な時の対応ができないことから、以前より、地区内においては、タイムリーな除雪になっていない、等の苦情が絶えません。
- ② 特に、平成 28 年 1 月の豪雪時には一時的に陸の孤島と化し、地区の何人かは職場に遅刻してしまうということになってしまいました。

2. 具体的な要望事項

小杉／泊のそれぞれの地区に新たに除雪機&オペレーターを増員していただいて、冬期の除雪にタイムリーに対応できる体制の見直し、整備をお願い致します。

要望事項；12

「イノシシ被害防止対策の要請」 H29-024-011

1. 要望理由と現状

- ① 現在、当地区内においてイノシシが頻繁に出没し、水田の畦畔被害や畑の農作物被害などが発生しており、今後、水稻被害も含めた被害拡大が懸念されます。
- ② 一部で電気柵を設置したりして、イノシシを近づかせないための追い払いなどにも努めておりますが、それでも効果が上がらず、今後も被害が拡大する恐れがあることから、捕獲実施をお願い申し上げます。

2. 具体的な要望事項

昨年7月には、「有害鳥獣捕獲依頼」書を提出して、捕獲柵の導入を要望しておりますが、順番待ちということで、未だに導入に至っておりません。被害防止に対応できる体制の整備をお願い致します。

要望事項 ; 13

「空き家対策の実施要請」

1. 現在の「空き家」の状況、及び対策の必要性について

- ① 一昨年 1 月の中旬に、泊地区で、県内のマスコミ各社にも取上げられた女性 2 人の死亡事故がありました。内容は、近隣とのコミュニケーションが良くない家族で、親族との付き合いも悪く、地区の回覧板が滞っていたことから、民生委員と自治会役員が尋ねていったところ、2 人とも、死後 2 週間ほどの状態で発見されたというものです。マスコミ報道では、この約 1 ヶ月後には、氷見市内の他の地区でも類似の件が発生していました。NHKなどの報道では、類似の件は他の都道府県でも発生しているようです。
- ② 泊地区の案件では、氷見警察署の調べでは事件性は無いということで一件落着となりましたが、問題は、2 人が住んでいた住居等は、親族が相続などを放棄したということで、現在も当時のまま放置された状態となっていることです。
- ③ 状況は個々で違いますが、他にも空き家(現在 ; 計 5 戸) があります。これらの家族については地区の会費も納めて頂いており、相続等により、管理責任は明確であり、管理された状態にあります。
- ④ 問題は、前記のケースです。このような形で、いつまでも放置された状態では、地域にとっては負の遺産となり、行政にとってもマイナスです。また、年月が経過すれば、有害鳥獣の住みかに成り得ますし、火災などの災害発生も危惧されます。

2. 具体的な要請事項

上記のように、相続放棄した場合のケースについて、市役所としても、いつまでも放置したままにしておくのではなく、何らかの法的な処置を講じるなど、地元の悩みに寄り添って、地域にとってベストなアウトプットを導き出して貰いたい。

意見交換；14

「少子高齢化と自治会活動の行き詰まり」

1. 地区の実態と後継者不在

(1) 現状

① 「藪田地区福祉だより」(54号)より；

● 平成27年4月現在の高齢化率；65歳以上？

氷見市 34.6% (藪田 42.0%、小杉 36.1%、泊 41.0%)

全国 26%、富山県 29.7% (富山県民手帳より H26/10/1時点)

※遥かに早く、高齢化が進んでいる、一方、若者が住まない。

※社会の変化に伴って、退職年齢や年金支給年齢の高齢化が進んでいる。

こういったことが、自治会活動にも大きく影響を与えてきている。成り手不在となっている。一緒に考えて頂きたい。

② 1人住まいのお宅(空き家を除く)が現在、13戸(男：7人、女：6人)/77戸となっていて、それぞれ家庭の事情により異なり、一概には言えないが、このままの状態、10年、20年、30年という時間経過があれば、確実に、空き家の問題が生じてくる。福祉部門が担当ということになるが、…。自治会の運営にも支障をきたすようになってくる。少子高齢化社会に対応する社会とはどういうものかが見えていない。

(2) 問題点

① 会費収入が毎年減少傾向にある中で、地区からの要望が多く、支出が増えてきている。

② いろんな面で、行政からの支援が必要である。自治会として、どう向き合うか？

③ 魅力がなくなっている？政府の成長戦略の恩恵が取り込めていない。どうすれば、取り込めるか？

(3) 自治会役員の後継者問題

川北先生からの問題提起について；現実とのギャップの大きさを感じる。

2. 課題

自治会として、この様な問題、課題についての取り扱いが難しいし、どのように行政と付き合えばよいか、サポートが得られるのか？或いは、自治会のタッチする問題ではないのか？(行政との連携強化はできるか？)

その他 ; 15

「～行政への要望、等～」(順不同)

1. 「平成 30 年度コミュニティ助成事業」採択に向けてのお願い

藪田地区自主防災会は「平成 29 年度コミュニティ助成事業」によって、三地区の防災資機材保管庫を整備することを目指して、県及び国に申請しましたが、富山県での審議で不採用となりました。市の担当部署と相談して、今年度、再度挑戦することとなっています。市長からも、県、国への働きかけをしていたできたく、今年度の採択に向けて、お願いいたします。

2. 掲示物の掲示について

広報と一緒に配布される掲示物について、地区内の皆さんにどこまで周知するのか？ということに悩んでいます。どこの自治会でもある問題ではないかと思います。掲示に適切な場所がないという問題もあります。

市としてもより多くの市民に、しかもタイムリーに周知させるということであれば、最近のデジタル技術の進歩やみんなが関心(特に、若い人)を持ちやすいということになると「電子看板」の方向に進んではどうかと思います。

例えば、このあたりの地区では、藪田郵便局辺りの国道沿いに設置して、藪田地区や、宇波、女良地区の人たちにも、通行時に周知してもらおう。更には、その他の、たとえば、国交省や警察などの PR などにも活用し、また、希望のある民間業者から広告料を受け取るというような活用もできると思います。この近辺であれば、漁協や農協などでも、需要はあるようにも思いますが、…。

検討をお願いします。

3. 配布文書サイズの[A4]サイズへの統一の徹底依頼

現在、広報などと一緒に配布依頼されてくる文書類は、ほとんどが[A4]サイズとなっていますが、中には、B4などのものも来ます。こういった、[A4]サイズ以外のもの([A4]サイズに折りたためる物はOKです)は、各家庭に配布するのに大変取り扱いにくく、面倒になっています。ファイルなど、保存するにしても、不都合が生じています。

細かいことですが、統一化の方向に向けて、再度徹底して頂けませんか？

4. 市内における地域間格差問題

地区の要望、問題として上がってくる案件は、中には地区固有の問題もありますが、必ずしもこの地区だけの問題ではないように思います。よく似た地域が他にもあり、類似の悩みがあると思えます。むしろ、「市街地 vs 中山間地」という地域間格差の課題のようにも思えます。

前に挙げた要望や問題点、課題は、逆があるかも知れませんが、市街地地区では全く問題視されない案件が多いと思います。案件によっては、画一的な対応ではなく、予算の配分、重みづけなどで、それぞれの地区に見合った対応等があってもよいようにも思えます。

この地区の重要な課題や住民からの要望の多くは「土木」関係に偏っています。そのため、マスコミなどで報道されているような、或いは、川北先生の主張されているような自治会活動は理解しづらいし、なかなか入り込めていけないように感じています。余裕もありません。

5. プラタナスの海峰小学校敷地への移植

旧藪田小学校の校庭には樹齢100年を超えるといわれたプラタナスの大木がありました。これが、3年ほど前に、跡地に水産卸冷凍冷蔵施設が建設されたときに、切り倒され、その2代目の移植先を探すという状況にありました。この大木は地元にとってはシンボリックな存在でした。そこで、2代目を統合校である海峰小学校の敷地内に移植して、改めて、統合のシンボルとなるべく育てて行ってもらえるよう支援していただきたいと思います。

以上